

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 8 日 (2016.9.8)

【公開番号】特開 2014-34682 (P2014-34682A)

【公開日】平成 26 年 2 月 24 日 (2014.2.24)

【年通号数】公開・登録公報 2014-010

【出願番号】特願 2013-154430 (P2013-154430)

【国際特許分類】

C 0 8 F 8/50 (2006.01)

C 1 0 G 9/00 (2006.01)

C 0 8 J 11/12 (2006.01)

C 0 8 F 10/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 8/50 Z A B

C 1 0 G 9/00

C 0 8 J 11/12

C 0 8 F 10/02

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 7 月 21 日 (2016.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回収したポリエチレンからワックスを製造する方法であって、
所定量の回収したポリエチレンを提供することと、
前記回収したポリエチレンを 2 0 0 ～ 5 0 0 の間の温度まで加熱し且つ絶対値が 1
m m H g ～ 1 0 0 m m H g の間の圧力で解重合させることと、
前記回収したポリエチレンを 2 0 0 ～ 2 , 0 0 0 の分子量のワックスフラグメントに分解することと、

前記分解している間に、絶対値が 1 m m H g ～ 1 0 0 m m H g の間の圧力で、前記回収したポリエチレンを同時に蒸留し、前記ワックスフラグメントを集め、除去することと、
を含む、方法。

【請求項 2】

前記回収したポリエチレンを 2 0 0 ～ 5 0 0 の間の温度まで加熱する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記回収したポリエチレンは、数平均分子量が 1 0 , 0 0 0 ～ 1 0 0 , 0 0 0 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ワックスフラグメントは、多分散性が 1 . 0 1 ～ 1 . 5 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記回収したワックスの 6 0 ～ 8 0 % が、前記ワックスフラグメントに変換される、請求項 1 に記載の方法。